

一般質問



西元和代



見守り、助け合いシステムの積極的な活用を(西庁舎)



問 ICTシステムの活用を

答 意見を参考に検討する

西元

総務省モデル事業導入で開始された地域の見守り助け合い活動－ICT活用事業は、本来ならば1億5千万程の事業である。しかし当初の計画と比べ迅速な入力による情報の共有がほとんど図れていない。連携した住民サービスを行うためにも目的の再確認と活用に向けた取り組みを図るべきではないか。また、災害時の

情報発信でエリアメールが届かない機種もある。ICTシステムも併せて活用すべきでは。

池田町長 各担当部署が責任を持つて、できるだけ最新の情報を入力・管理すべく体制を整えるよう指示する。災害時の情報発信は単一でない方が良いと考える。意見を参考に今後について検討する。

西元

今後の介護保険改正により現段階の要支援者が日常生活に困る状況が想定される。町独自でそれまでの9割費用分を全て負担して事業所に任せるのか。それとも、それに代わるものを考えいくのか。

それに見合うものを町がどう立ち上げるかが大きな課題。高齢者対策に地域はどう対応していくか、しっかり議論したい。

問 現行の要支援の行方は

答 地域の対応策を議論

池田町長